

## 2011 年度学習院大学史学会例会

■11月19日 シンポジウム

【近代日英関係史を問い直す】

君塚直隆氏 「4代の天皇とガーター勲章」

等松春夫氏 「アジア・太平洋戦争と日英関係」

例会報告(文責：白井拓朗)

2011 年度学習院大学史学会例会

シンポジウム【近代日英関係史を問い直す】(講演)

今年度の史学会例会では上記のように銘打ち、関東学院大学教授君塚直隆氏、防衛大学校教授等松春夫氏の両教授による講演という例会を11/19(土)に行いました。

### 第一部 講演会

第一部では、イギリスのガーター勲章の起源から入り、日英近代史でも大国の英国とアジアの二等国であった日本を繋げたものがガーター勲章であった。皇室外交による日英の同盟と悲惨な第二次大戦を経ても、変わらぬ関係を維持していった日英両国の関係について講演していただきました。

### 第二部 講演会

第二部では、第二次大戦でアジア方面の戦争を太平洋戦争というのは周知のことだが、東南アジアでも日英は熾烈な戦いを演じた。多くの犠牲を払った大戦において戦後の賠償問題は現在に至るまで引きずっている。日英が戦争によって関係を断ち、戦後の関係修復から現在にいたるまでの戦後問題を講演していただきました。

ご協力をいただきました君塚、等松両教授及び例会関係者、参加会員の皆様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。